

科目名	情報セキュリティ特論			英文表記	Advanced Information Security		年月日
教員名：伊波靖							2010.3.12 作成 修正
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業方法	授業期間	
創造システム工学専攻 情報工学コース	2年	選択	学修	2単位	講義	前学期	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSのセキュリティ機能について理解し、脅威と対応法について理解する</li> <li>不正アクセスの手法と防御方法について理解し、セキュアプログラムの開発ができるようになる</li> <li>情報セキュリティポリシーに基づいたセキュアOSの設定ができるようになる</li> </ul>						
専攻科目目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学プログラム	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2, A-3, B-2, C-2,	
授業概要、 方針、 履修上の注意	情報セキュリティを確保するためにOSに実装された機能と、実際の不正アクセス手法とその防御法について学ぶ。また、脆弱性検査手法について具体的なツールにより理解を深め、それを防ぐためのセキュアプログラミング手法について学ぶ。また、セキュリティポリシーに基づいたセキュアOSの設定を行う。						
評価方法	試験は実施せず、項目毎の演習課題、レポートおよび最終課題を総合して評価する。演習課題を60%、最終課題を40%として評価する。						
教科書・教材	自作教材及びパワーポイントなどのプレゼン資料						
参考図書	情報セキュリティ教本：組織の情報セキュリティ対策実践の手引き(実教出版)、情報セキュリティ標準テキスト(オーム社)、絶対わかる!情報セキュリティ超入門(日経BP) (他にも参考図書を探す場合のキーワード：情報セキュリティ ISMS)						
<b>授 業 計 画</b>							
授 業 項 目		時間	授 業 内 容				
1.ガイダンス			授業の進め方や成績評価方法、受講上の注意事項など				
2.OSにおけるセキュリティ機能の変遷			OSにおけるセキュリティ機能の変遷について学ぶ				
3.セキュアOS(1)			各種セキュアOSの考え方について学ぶ				
4.セキュアOS(2)			各種セキュアOSの設定方法について学ぶ				
5.セキュアOS(3)			各種セキュアOSの設定方法について学ぶ				
6.脆弱性検知手法(1)			脆弱性検知手法等について学ぶ				
7.脆弱性検知手法(2)			脆弱性検知手法等について学ぶ				
8.脆弱性検知手法(3)			脆弱性検知手法等について学ぶ				
9.不正アクセス手法と防御(1)			不正アクセス手法と防御について学ぶ				
10.不正アクセス手法と防御(2)			不正アクセス手法と防御について学ぶ				
11.セキュアプログラミング(1)			セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ				
12.セキュアプログラミング(2)			セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ				
13.セキュアプログラミング(3)			セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ				
14.最終課題(1)			ポリシーに基づくセキュアOSの設定を行う				
15.最終課題(2)			ポリシーに基づくセキュアOSの設定を行う				
前期末試験		[2]	実施しない				
学習時間合計		30	実時間		25		
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)							

各項目毎にレポートがダイヤ演習課題を課す。